

# 元祖 モリモリ書店

Web版 卒業した。紙に欠けたり、よびたり。

令和2年度 愛知教育大学附属岡崎中学校 読書だより

NHK『オンラインのど自愛』  
登場人物が読書好き

第15話 R02.06.02(火)

「いつでも自分の  
生き方ができるように。」

★今回、紹介する本は、『それでも、僕は前に進むことにした』（著/こかじさら、出版/双葉文庫）。

今回は、女性作家の小説です。つらいことがあっても前を向いて進もうとする人を応援してくれるような、あたたかく力強いストーリーです。

一流のCM監督を目ざして、日々、CMづくりをがんばる若者・勘太郎。努力を惜しまない彼のもとに突然やってきたのは、「網膜色素変性症」という目の難病。やがて視力を失うことを宣告された勘太郎は誰にも言えず、一人苦しむことに。

努力家の主人公が病気によって心を押しつぶされていくさまがいていねいに描かれ、そこから立ち上がる過程に、とても勇気づけられます。動けば変わる。一步踏み出すことで、自分の道は自ずと開かれていく。すてきな1冊です。



と、でも読みやすいし、スタートにぴったりの本です！



「準備してきたかどうかに、すでに結果は見えてるんじゃないかな。」  
 一人じゃない。一緒に歩んでくれる。必ず一緒に歩んでくれる。  
 必ずいっしょに歩んでくれる。  
 一人じゃない。一緒に歩んでくれる。必ず一緒に歩んでくれる。

「準備してきたかどうかに、すでに結果は見えてるんじゃないかな。」  
 (p.209)

「思い描いていたのとは異なる道を歩むことになったとしても、ぶりの道を歩いたからこき見られるものが必ずある。」  
 ↑この言葉、とでも注げます。(みじみ、よゆかり) (p.319)